

平成24年度
平成23年度実施

事務事業評価調書

整理番号 3 - 5
作成年月日 H24. 7. 31
事業区分 ☒ 継続 ☐ 新規

事務事業名 オホーツク農業科学研究センター運営事業

事業開始年度 平成20年度 住民参加 ☐ 有 関係例規・法令名
事業終了年度 平成24年度 住民協働 ☒ 無 関係個別計画名

会計区分 一般会計 款 6. 農林水産業費 項 1. 農業費 目 4. 農業科学研究センター費

担当 課 産業振興課 担当係名 酪農振興係 調書作成者職氏名 係長 宿野部猛

【第五期興部町総合計画】 ☒ 登載事業 ☐ 非登載事業 実施計画登載No 55

分類	コード	名 称
基本目標	2	産業を育てる“まちづくり”
施策項目	9	農業の振興
単位施策	3	新しい農業づくり

I. 事業計画

(1) 対象	【事業の相手】 ※ 何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのか具体的に記載して下さい。 ・ 興部町が基幹産業とする農業 ・ 農畜産物加工業者 ・ 農業関係機関 ・ 農業団体
(2) 手段	【事業の概要】 ※ 目指すべき姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載して下さい。 ・ 土壌分析―草地更新・造成における施肥設計及び種子設定指導、圃場台帳の更新 ・ 飼料分析―牧草の収量調査及び栄養分析により安定した良質粗飼料生産・確保を図る ・ 加工実習―農畜産物の消費拡大、付加価値製品の開発を目的とした町民参加の加工実習 ・ 牛の血液・乳汁検査―良質乳生産を目的とした乳牛の健康管理 ・ 堆肥分析―糞尿の有効活用
(3) 目指す姿	【事業の成果】 ※ 事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載して下さい。 ・ 分析機器の更新により精度の向上及び分析項目の拡大、迅速化が可能となる ・ 分析項目の拡大により草地更新時におけるより緻密な技術指導が可能となる ・ 分析検査の迅速化により、技術指導担当者及び農家への結果の早期フィードバックが可能となる

II. 指標【成果を判断する目標数値】

No	種 別	内 容	区 分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
1	成果指標	農協分担金	目標値 実績値	千円	8,000 8,000	5,000 5,000	8,000 8,000	8,000 8,000	8,000
2	成果指標	分析手数料	目標値 実績値	千円	6,000 18,347	6,000 11,158	5,300 5,741	5,000 8,649	5,000
3			目標値 実績値						
4			目標値 実績値						

III. 事業費の推移 (単位：千円)

区 分	19年度 決 算	20年度 決 算	21年度 決 算	22年度 決 算	23年度 決 算	24年度 予 算	20～24年度 合 計
事業費(千円)	19,745	31,446	29,514	38,791	20,592	43,400	163,743
財源内訳							
国庫支出金			7,700	4,500			12,200
道支出金							0
地方債		6,000				16,700	22,700
その他	17,638	26,991	16,901	14,491	17,399	14,750	90,532
一般財源	2,107	△ 1,545	4,913	19,800	3,193	11,950	38,311

IV. 担当課による事務事業の評価

区 分	チェック項目の説明（内容）等
1. 実施の妥当性 (1) 町の政策的な事業である。 ☒ (2) 公共性が高い事業である。 ☒ (3) 緊急性が高い事業である。 ☐ (4) 法令等により実施が義務付けられている。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	当センターを中心とする関係機関との営農技術指導体制の確立が図られ、農家への技術支援がさらに対応できるようになった。 道内各地から分析依頼があり、道内食料自給率向上に貢献している。 農業者に加え、非農業者にも加工室が利用され有効活用されている。
2. 経済性・効率性 (1) 費用に見合う効果がある。 ☐ (2) コスト削減の余地がある。 ☒ (3) 受益者負担の余地がある。 ☐ (4) 補助制度等活用の可能性がある。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	老朽化した分析検査機器の更新により分析検査コストの低減が可能。 町外からの分析検査受託をより多く受けることで収入増が可能。
3. 必要性 (1) 町民のニーズがある。（高い） ☒ (2) 事業を継続する必要がある。 ☒ (3) 類似事業との統合・再編の可能性がある。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	異常気象等による輸入穀物の高騰が顕著であり、さらなる飼料の自給率向上が喫緊の課題。 良質かつ安定的な生乳生産を行うためにより細かな分析検査項目が求められている。
4. 代替性 (1) 行政主体による実施が適当である。 ☐ (2) 民間委託等による実施が可能である。 ☐ (3) 住民協働（主体）による実施が可能である。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	
5. 事業の達成度 (1) 期待どおりの成果があがっている。 ☐ (2) 概ね期待どおりの成果があがっている。 ☒ (3) 成果が不十分である。 ☐ (4) 事業の見直し等が必要である。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	分析データをもとに関係機関が共通認識を持って技術支援ができる。 恒常的な細菌検査により農畜産物製造業者の「安全・安心」な製品の製造販売に寄与している。

特記事項

V. 一 次 評 価（所管課）、二 次 評 価（庁内評価委員会）

区 分	評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性
一 次 評 価	継 続 【現状維持】	興部町の農業の維持、発展のために必要不可欠である。
二 次 評 価		二次評価対象外

VI. 外部意見（興部町総合計画策定審議会）

--	--

VII. 総合評価（町長、副町長、教育長）

最 終 評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性

☆ 評 価

- (1) 継 続 【現状維持】 ⇒ 事業内容、事業量に大きな変動がなく、予算増減が少ないもの
 (2) 継 続 【拡 充】 ⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算増を伴うもの
 (3) 継 続 【縮 小】 ⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算減を伴うもの
 (4) 継 続 【統 合】 ⇒ 事業内容の類似する事業に統合し、この事業を廃止するもの

- (5) 終 了 ⇒ 単年度事業、期間満了による事業の終了
 (6) 休 止 ⇒ 隔年度での事業実施などによる事業の休止
 (7) 廃 止 ⇒ この事業を廃止するもの